

公的地震情報を活用した早期運転再開支援システムの試作

岩田直泰 山本俊六 是永将宏 野田俊太
伊藤賀章

地震が発生した際に、その揺れが大きく鉄道構造物や走行中の車両に影響が及ぶと懸念される場合には、可能な限り早く列車を停止させ、その後に徒歩巡回等に基づく安全確認を行い運転の再開を行うこととなっている。この安全確認は、目視で軌道や構造物などに変状がないことを確かめることから、多大な時間を要する場合がある。運転再開の早期化を図るためには、的確かつ効率的に安全確認を行う必要があるが、このためには地震計の設置されている場所以外の地震動を精度良く推定することが望まれる。近年では、公的機関により全国に多数の地震計が整備され、情報通信技術の発展によりこれらの情報は準リアルタイムで公開されている。そこで、公的地震情報を活用した地震動推定（図参照）や構造物被害推定を行う早期運転再開支援システムを試作した。このシステムを導入し、安全確認の

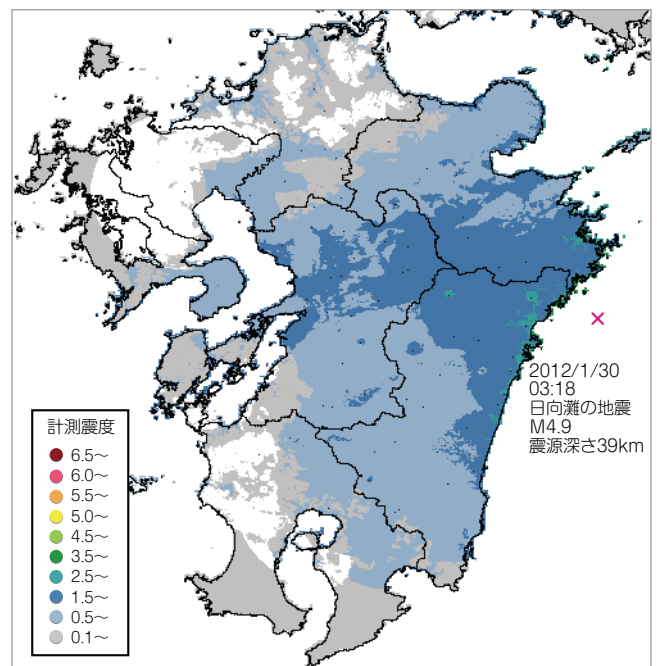


図 地震動の面的推定結果の例 (IDW法)

実施範囲を最適化する事で、より早い運転再開が可能になると考えられる。